



中野区議会議員 無所属

# 佐藤ひろこ

[事務所] 〒164-0001 東京都中野区中野1-33-9 TEL/FAX.3368-9107

[区議会] 〒164-0001 東京都中野区中野4-8-1 市民自治控室 TEL.3228-8874

http://homepage2.nifty.com/usagidayori/ mail: usagidayori@hotmail.com

編集:住民自治をすすめる会 発行:市民自治

## うさぎだより

### もっと現場の声を聞く区政を

2007年 第一回定例会 佐藤ひろこ区議会質問



昨年度、介護に関する区の予算が多額に余りました。介護保険法が変わり、介護時間が減らされた人が多い上に、介護予防サービスを利用する人が少なかったためです。一方で、何日も入浴

できない状態にいた一人暮らしの高齢の方、ヘルパーがいないと派遣されていなかった重度の障がいのある方など、必要なサービスが届いていない実態に出会うことがあります。すぐ、地域包括支援センターなどに連絡しましたが、現場から政策の不十分な所が見えてきます。区はもっと現場からの声を聞くべきです。また、これからは、地域密着型の新たなサービスが高齢者にも障がい者にも必要です。実現のために力を尽くします。

#### 高齢者・障がい者の 在宅生活の支援を



佐藤 少子高齢化が進みます。ひとり暮らしの人を多くの人で支援していく地域づくりが必要です。地域の力をつなぐために、高齢者の支援では、地域ケア会議、障がい者の支援では、自立支援協議会をしつかり機能させるべきです。また、地域包括支援センターの充実を。

区長 総合公共サービスセンターと合わせ、子ども達や高齢者、障がい者を支援する地域連携のネットワークを作っていく。関係者や障がい当事者などの参加を得て、自立支援協議会を二〇〇七年度中に発足させる。

佐藤 必要の人に必要なサービスをいきとどかせるために、相談支援体制の充実をどのようににかつていくのか。

区長 適切な相談支援のあり方を検討する。  
佐藤 高齢化などのために週2回くらいなら外出できる人たちもいる。多様な場を選べるように障がい者の地域活動支援センターを増やすべきだ。

区長 利用状況や要望などを勘案して判断していく。  
佐藤 身近な地域でヘルパー派遣やショートステイを行う小規模多機能型施設は、24時間365日在宅生活を支える拠点として期待されている。中野区への誘導策をはかるべきだ。  
区長 生活圏域ごとに計画的に整備する。区有地の貸与など誘導策を考える。

#### 中野駅と駅周辺を もっとバリアフリーに

佐藤 中野駅のバリアフリー化が遅れている。駅周辺のバリアフリー化もあわせておこなうべきだ。特に、南口の地下街の入り口で危ない目にあつた視覚障がいの方々もあり、点字誘導ブロックの設置も早急に必要だ。  
区長 二〇〇七年度に北口の小階段の解消が検討されている。エレベーターなどは大改修が必要。JRに再度要請する。点字誘導ブロックなどは計画的に改善していく。

#### 障がいを持つ 子どもたちへの支援を

佐藤 アポロ園の親の会と懇談した。情報提供と相談支援の強化が必要だ。相談窓口を紹介した子育て支援ハンドブック、おひるねや、24時間相談窓口である障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」の存在が知られていない。アポロ園の他にも障がいのある子どもの一時的保育ができる場を増やしてほしい。  
区長 障がいのある子の相談や

情報提供、支援について拡充をはかっていく。  
佐藤 保育園・幼稚園での障がい児の受け入れのさらなる拡大を。区長 充分検討していきたい。  
佐藤 アポロ園の冷暖房の設備や遊具などの環境改善を。  
区長 必要に応じて改善する。

#### 保育サービスの充実を

佐藤 待機児童ゼロに向けた目標、保育の充実の達成状況は。  
区長 昨年4月の待機児童は43人。民間による建て替えなどの時に定員数を増やし、待機児童を解消していく。延長保育は来年度全園実施。一時保育や子育て広場など地域の乳幼児親子のためのサービスを民営化などで充実する。  
佐藤 認証保育園に通う子どもたちへの支援策は待機児かどうかにかかわらずおこなうべきだ。また、認証にならない保育所に通う子どもたちへの支援も検討するべきだ。  
区長 保育に欠けることを要件

に補助を行なう。その他の保育所にも情報提供や相談などにつとめている。

#### 出産にあたって支援を

佐藤 検診など子どもを産む時の経済的な支援の拡大を。  
区長 二〇〇七年度は5回分の妊婦検診を公費の中で助成することにした。



浅野史郎さんと中野駅前

中野区議会議員選挙は4月15日告示、4月22日投票日です。

#### 自治体政策にコミュニティデザイン力を

子育ての現場でも介護の現場でも、新たなサービスが求められています。住民のニーズにもとづいたサービスを、限りある財源から作り出すためには、「市民の力を引き出す力」「人と人を結びつける力」「場を作り育てる力」「人と場を結びつける力」のようなコミュニティをデザインする力が、これからの中野区の政策に必要です。





# 少ない人口の子ども達世代が 支えられる区政に変えよう!

質問に答えます。



## 警察大学跡地は どうなるの?

4ヘクタールの防災公園と市民が行きかつまちづくりを次世代に負担をかけない方法でと要望してきました。

今年度予算で約86億円を出し(国の補助金を活用し)区は公園と道路用地を取得することになりました。民間が出す部分と合わせて3ヘクタールの防災緑地の整備と大学と住宅が誘致される計画です。さらに緑地を広げることや建物の高さ制限など環境への配慮が必要です。

## 保育園はどうなるの?

多様な家族のニーズに答える保育の充実を訴えてきました。少なくなる次世代が支えることができるように、民間法人の力も活

かしながら、保育園の数を減らす、一時保育や延長保育などを増やすことができました。地域の乳幼児親子にも開かれた場にしていく必要があります。

## ヘルパーさんが 足りない!

国の介護報酬単価の削減でヘルパーが足りないという事態が起きています。子育てや介護の現場で働く人が大事にされなければいけません。

中野区でパートの保育職員を任期付短時間公務員とする制度をつくることができました。民間においても均等待遇をすすめる制度が必要です。

## 中野区は 貧乏なのですか?

田中区政5年間の改革で財政

破綻寸前から立ち直ることができました。約七〇〇億円あった借金は約五〇〇億円まで減らすことができました。

行政革新度は全国14位へと大きくアップ。しかし、区民税の増加率は23区で最低。このままでは子どもの達世代が大変なことになります。

地方分権の中、中野区の住民サービス向上のためには税収の確保策も必要です。

## 議員特権廃止を!

今回の議会で在職20年議員を表彰する議案が提案されました。議員特権廃止を求める立場から反対しました。



重度障害者通所施設「ふらっと」のパン工房の前で。おいしいパンと手作りのおとうふを売っています。中野区本町5-40 tel.6805-6580

# 今までの4年間 佐藤ひろこの主な質問

だれもが地域で暮らし続けられるまちづくり

24時間の相談支援を

- ・24時間365日の相談窓口を(一部実現)
- ・民間事業者に勧誘できる福祉オンブズ制度を(来年実現)
- ・権利擁護センターを実現
- ・介護サービスの充実を

24時間365日在宅を支える介護サービスを

- ・地域の人材を生かした認知症ケアを
- ・シフトやデイなど小規模多機能型施設を(来年実現)
- ・江古田の森にグループホームやケアハウスを(一部実現)

障がい者の地域生活支援を

- ・移動支援や手話通訳等の原則無料化を実現
- ・通所通学通勤など移動支援の充実を(一部実現)
- ・重度の人が利用できる通所施設の増設を実現
- ・障がいのある中高生の学童クラブの支援を(一部実現)
- ・要約筆記者派遣の事業化を実現
- ・障がい者法定雇用率の達成を

格差をなくす自立支援を

- ・生活保護者の自立支援に連携体制を
- ・ホームレスの自立支援のために健康相談や仕事・住居の支援を実現
- ・就職相談など若者の求職活動の支援を(一部実現)

災害弱者の避難対策

- ・災害弱者への情報伝達と安否確認体制を
- ・福祉避難所の増設を(一部実現)

駅や道路をバリアフリーに

段階解消や点字誘導ブロック設置を

- ・スマイル中野裏の放置自転車撤去を
- ・多様な家族の子育てを
- ・しつかり支援

緊急一時・産休明け延長保育など多様な保育の拡大を実現

- ・保育園・幼稚園に障がいのある子どものもつと受け入れを
- ・母子生活支援施設を建て替え24時間の子ども家庭支援センターを(計画化)
- ・認可外保育園の子ども達への支援を(一部実現)

ひとりひとりの尊厳を大切に

- ・人権の尊重を
- ・新しい中野区基本構想の理念に人々の自由と尊厳を実現
- ・審議会などへの女性の参画率40%の達成を(一部実現)
- ・プライバシーの保護を
- ・住民基本台帳大量閲覧の制限を実現
- ・国勢調査で全部封入提出方式を実現
- ・住基ネット再接続・住基カードは問題あり

DV被害者の支援を

- ・DVの相談関係機関の情報提供を実現
- ・女性のためのシェルター支援を
- ・共育を
- ・ノートテイクなど学習介助員を(一部実現)
- ・人間関係づくりの体験学習を(一部実現)

区民の力で

- ・新しい公共サービスづくり
- ・市民の寄付金による市民活動助成事業を実現
- ・基準を明確にした補助金交付の透明化を
- ・NPO支援条例とNPOセンターを(一部実現)

徹底した情報公開と市民参加を

- ・区民参加をすすめる
- ・区民参加の仕組みも定めた総合的な自治基本条例を実現
- ・市民参加型の行政外部評価を条例に実現
- ・入札制度の改革
- ・環境配慮や障がい者雇用などを評価した総合評価入札制度を(一部実現)

環境を守る

- ・江古田の森の樹木の保全を実現

警察大学跡地に緑と学びの区民の森提案。地球温暖化防止条例や計画の策定を早急に(計画化)。  
アスベスト対策を徹底的に(実現)

持続可能な区政への転換を  
学校施設の立替など必要な基金の積み立てを(計画化)  
次世代のために施設配置や運営の見直しを(計画化)

## 国に訴えました!

障害者自立支援法 私たち抜きに私たちが決めないで  
DV法改正で国会ロビー活動  
パート労働法の改正を  
自衛隊イラク派遣の中止を

## 佐藤ひろこの収支報告

2007年2月~3月

	2月	3月	期末手当
収入	617,600	617,600	223,880
報酬			0
費用弁償	3,000	18,000	
支			
税金	69,490	69,490	34,036
年金・保険	151,680	151,680	11,150
活動費	43,374	54,872	
積み立て	3,000	18,000	
出			
残	353,056	341,558	178,694

\* 議会に出席すると1日につき3,000円の費用弁償がつく。本来ならなくすべきだ。区に返すことは法的にできないので積み立て、区外の団体に寄付をしている。今回は能登半島地震義援金として2万円寄付。

## あとがき

「つぎだより」で情報をお伝えし、議員報酬も公開。どんだった区財政を立て直しつつ、新たな福祉サービスづくりに取り組んできました。提案をいただいたり、応援をいただいたり、ほんとうにありがとうございました。

また、「つぎだより」でお会いできることを願っています。

## 佐藤ひろこの活動日誌から

- 11月
- 6 中野区老人クラブ連合会と懇談
- 9 障害者防災委員会
- 10 総務委員会
- 11 中野区男女共同参画センターまつり
- 14 「不都合な真実」映画試写会
- 15 補正予算内示・愛育会と懇談
- 19 ハンディキャップの会交流会
- 20 私立幼稚園連合会60周年記念式典
- 23 ねこの手主催の障害者自立支援法意見交換会  
なくそう議員特権!市民派議員キャンペーン集会
- 27~29 本会議
- 29 地域子ども教室シンポジウム
- 12月
- 2 ユニークダンスに参加
- 21 世紀社会デザイン学会で発表
- 4・5 総務委員会
- 4 谷戸小で地域安全協議会
- 7 障害者防災委員会で防災訓練。本部要員で参加
- 9 沼袋地域センターで地域懇談会
- 11 さくら館で地域懇談会・桃園デイクラブ
- 21 「障がい者福祉について」区民と区長の対話集会
- 23 南口点字誘導ブロック点検・ふえみんの中野北支部例会
- 24 認証保育園ベビーサロン中野見学
- 1月
- 4 新年賀詞交換会・駅前トーク(ほぼ毎日実施)
- 7 中野1丁目町会新年賀詞交換会
- 8 駅前トーク・成人のつどい
- 14 上鷲宮まちづくりについて懇談会
- 19 住民自治をすすめる会区政報告会
- 21 中野消防団始式
- 26 谷戸小セーフティネット教室
- 27 野村生涯教育センター新年懇談会・宮三町会新年会
- 29 東京土建新春のつどい
- 30 アポロ園親の会と懇談会
- 2月
- 2 福祉団体連合会新年懇親会・修士論文審査会
- さくら館でもちつき大会
- 9 東京婦相会で「売春」の上映会
- 12 第一杉の子作業所30周年のつどい
- 20~22 本会議・佐藤ひろこ一般質問
- 23 予算特別委員会
- 24 中野区肢体不自由者父母の会50周年のつどい
- 25 中野区地球温暖化シンポジウム
- 27・28 予算特別委員会総括質疑
- 3月
- 4 ねこの手主催 安積遊歩さん講演会
- 7 本会議
- 9 総務委員会・浅野史郎さん講演会
- 14 障がい福祉の現場から講演会・通所施設「ふらっと」見学
- 15 最終本会議
- 17 田中ナースリー保育園修了式
- 20 9中卒業式
- 22 谷戸小卒業式・区民参加の中野をすすめる会
- 23 立教大学大学院学位授与式
- 24 児童福祉の現場から講演会と区政報告会